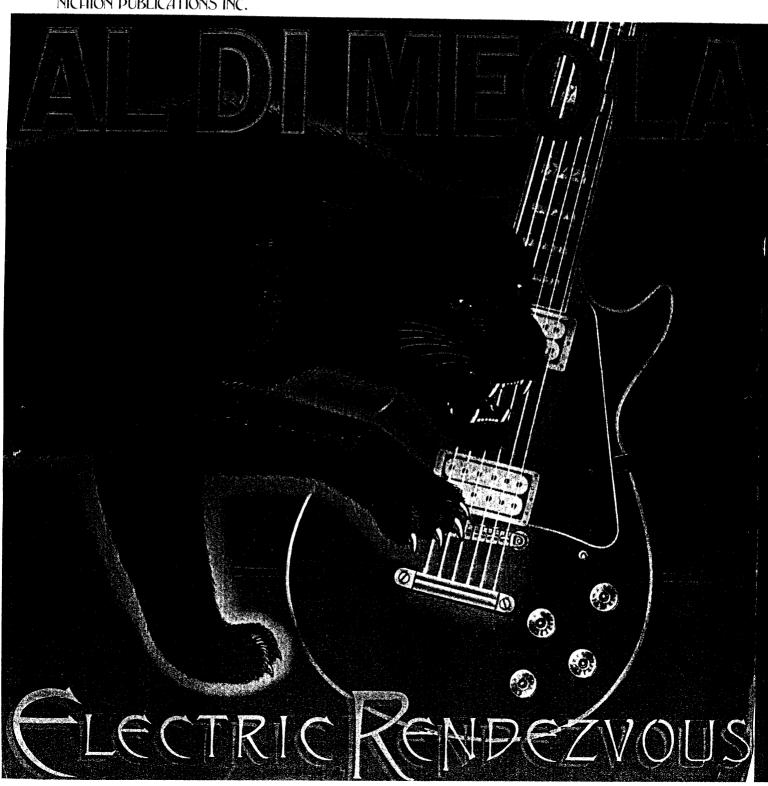
アル・ディ・メオラ AL DI MEOLA エレクトリック・ランデブー ELECTRIC RENDEZVOUS

■ギター譜(タブ譜付)■

NICHION PUBLICATIONS INC.



CONTENTS -

●タイトル	●演奏解説	
ELECTRIC RENDEZVOUS····································		
PASSION GRACE AND FIRE		
CRUSIN'····································	47	19
RITOMO DE LA NOCHE		
SOMALIA···································	.646	36
JEWEL INSIDE A DREAM····································	·68······- 7	70

採譜・橋本真秀

写譜・伊東由隆

「God Bird Change」「Black Cat Shuffle」の2曲は著作権上の問題で掲載しておりません。

ELECTRIC RENDEZVOUS



[©] Copyright Di Meola Music Co. The rights for Japan assigned to Pacific Music Publishing Co., Ltd.





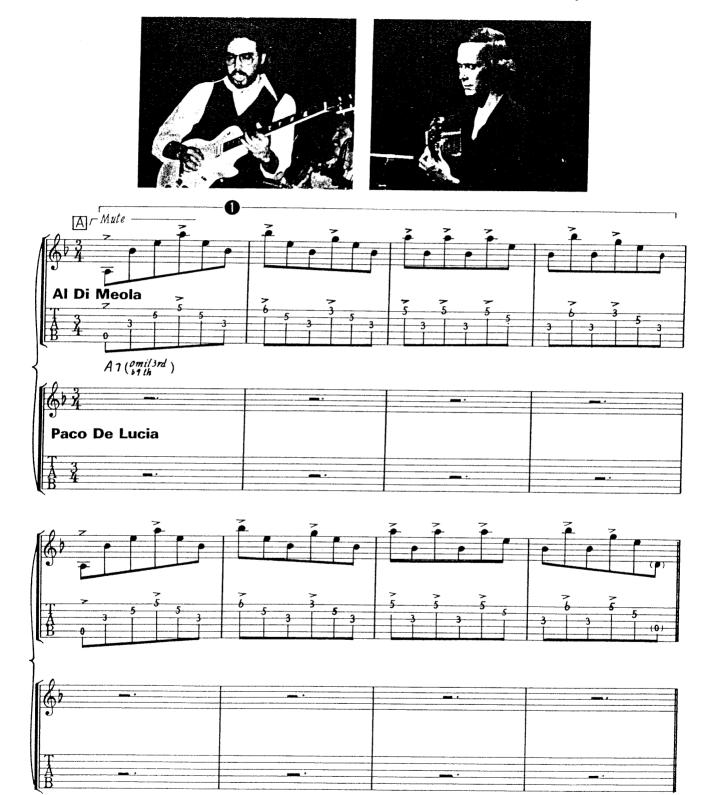








PASSION GRACE AND FIRE



[©] Copyright Di Meola Music Co. The rights for Japan assigned to Pacific Music Publishing Co., Ltd































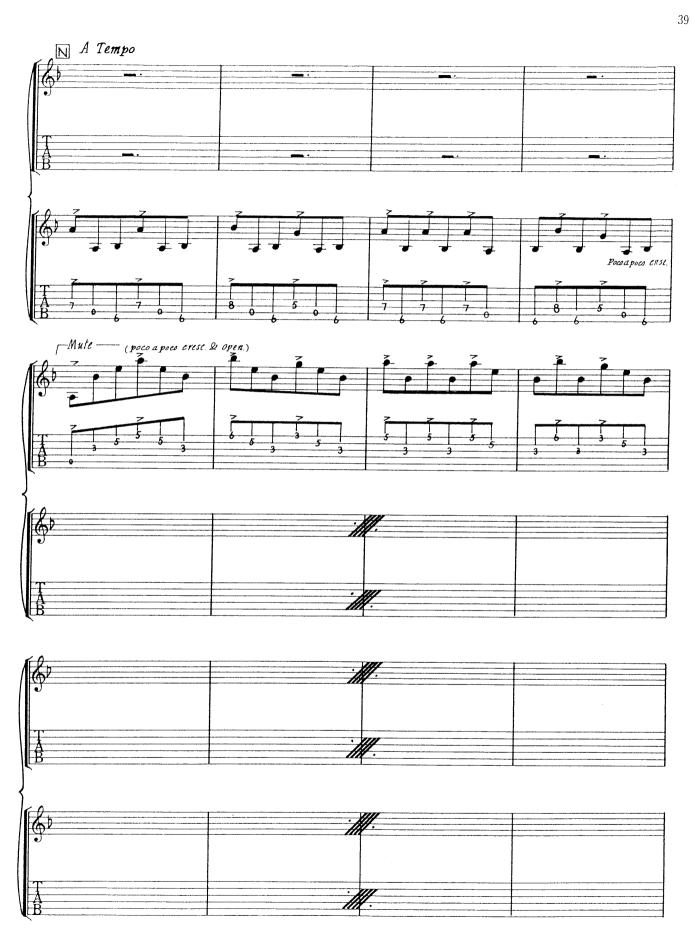
























CRUSIN'

クルージン ------by Jan Hammer



© Copyright 1981 by Country & Eastern Music Inc. Rights for Japan assigned to Victor Music Publishing Co., Inc.











RITMO DE LA NOCHE



[©] Copyright Dimeola Music Co. The rights for Japan assigned to Pacific Music Publishing Co., Ltd









SOMALIA

ソマリア

リード

非常に短い小品で次の "JEWEL INSIDE A DREAM" へのプロローグともいえる作風になっている。レコードを聴いても、つながりは自然で、次の曲のイントロと感ちがいするくらいだ。この曲では 4 台のオペーション・ギターとソプラノ・ギターのような音域をもつギター、そしてシンセサイザーのみの演奏となっていて、レコード全体に安らぎを与えている。アドリブ・ソロは全く行なわれていないので、ここでのソロ分析はもちろんカットする。

演奏解説

メロディー・パートの解説

- 指使いはこのポジショニングで小指→薬指→薬指→薬指→人差し指がおそらくベストだろう。半音のチョーキングを正確にコントロールして欲しい。この曲でも、このオベーション・ギターでのヴィブラート(クラッシックあるいはハンド・ヴィブラート)がフレーズに歌心を与えている。
- ② ここではおそらく、薬指→人差し指→人差し指→人差し指→人差し指という指使いとなっているようだ。又、①と違ってスライド・プレーになっているが、これはリズムを一応しっかり聴かせる部分(最初の2つの連続したスライド)そして装飾音的に素早くスライドする部分(装飾音になっている部分)を明確に使い分けることがポイントとなる。
- ❸ ここでは─個めのスライドをリズムをしっかり感じさせるようにある程度素早く、2個めのそれをポルタメント的にゆっくりやるのがこつだ。

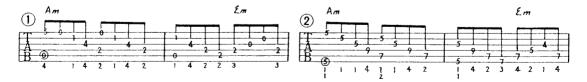
アルペジオ・パートの解説

ここが今一納得出来ない。何故なら変則チューニングを使っている可能性があるからだ。

レギュラー・チューニングでは最初の6小節までのこの演奏のように、うるおいを与えるのがきついはずだ。特に5、6小節の2回目3回目のH+Pを含んだアルペジオがロー・ポジションでは不可能に近いものになるのがわかるだろう。又、最初の2小節でもロー・ポジションでは、最初のA音をうるおいよく伸ばす事は不可能だし、5フレットでコードを押えても、Emのアルペジオが弦の性格から生き生きとしたものにはならない。

しかし口小節からはレギュラー・チューニングでベストのプレーが出来るので(それにしてはちょっとスムーズなプレーとは言えないが)、そう仮定して話を進めよう。

② 2種類のタブ・ポジションが主に考えられる(譜例: 1, 2) 1→人差し指, 2→中指, 3→薬指, 4→小指で指使いを書いた。譜例: 2ではもちろん人差し指のセーハを使う。



● ここにも2種類のタブ・ポジションが主に考えられるが、やはり一長一短だ(譜例:3、4)。





❻ (譜例:5)では開放弦が使用でき、いいサウンドになるはずだ。



7 ここも3弦の開放が使える。(譜例:6)。



③ ここでは理想的な 1, 2弦の開放音を使ったひびきが得られる。(譜例: 7)。



この① $oxed{3}$ でのミステリアスで,ちょうど, $oxed{B}$ (onG), $oxed{E}$ (onC)のコードを密集配置にしたようなコードを,一般的なコード進行で考えるなら分数和音の機能と同じく,各々, $oxed{B}$ /G, $oxed{G}$ /C, $oxed{E}$ m/Am ϕ の代理と考えられる。

又,リピート後からのこのパートでは,ちょうどオクターブ上げたアルペジオが右チャンネルから入っているが,録音テクニックか,特殊ギター等によるものかはわからない。

トレモロ奏法によるギターの解説

トレモロ奏法による 2 台のオペーション・ギターがリピート後から入ってくる。この奏法はディ・メオラが得意とするもので、ミュート・テクニック同様、彼のトレード・マークといってもいいだろう。彼のトレモロ・プレーは一流のマンドリ奏者のごとくツブがそろいきれいだ。ここでは、ダヴィングによる、6 連のリズムを持たせたトレモロのクレッシェンド、デクレッシェンドを伴ったピッキングが見事だ。5 度音程を保ったアレンジも素晴しい。このトレモロ奏法に限らず、ピッキングは決して手を動かさず、なるべく手首だけでピッキングする事を心がけたい。

SOMALIA

ソマリア ------by Al Di Meola

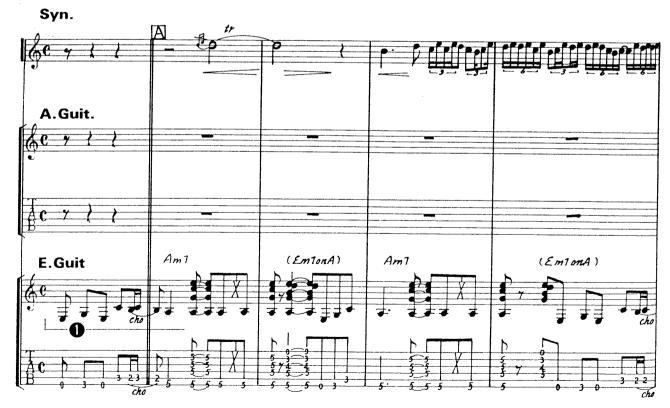


© Copyright Di Meola Music Co. The rights for Japan assigned to Pacific Music Publishing Co., Ltd



JEWEL INSIDE A DREAM





© Copyright Di Meola Music Co. The rights for Japan assigned to Pacific Music Publishing Co., Ltd

